

令和
6年度

地域に学ぶ

トライやる・ウィーク



かこのちゃん©加古川市

令和5年度は、コロナ禍を経て、計796箇所（新規事業所93箇所）の事業所で、「トライやる・ウィーク」が実施できました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

本年度も引き続き、「学校・家庭・地域」が三者一体となり、「トライやる・ウィーク」を各校で実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。

○地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」とは？

平成10年度から中学2年生、義務教育学校後期課程8年生を対象に実施している**社会体験活動**です。地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、**豊かな感性や創造性を自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけたり**することができるように支援するものです。また、その取組を通じて、**学校・家庭・地域社会の連携を深め、子どもたちを中心とした地域コミュニティ構築へと発展**することを期待するものです。

○地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施の背景とは？

平成7年1月の阪神・淡路大震災から得た教訓や平成9年の神戸市須磨区で発生した世間を震撼させる事件を踏まえた「心の教育緊急会議」等からの提言を踏まえ、命を大切にす心や思いやりの心、規範意識を養うなど、「心の教育」の充実を図るため、地域の方々の参画と協働による地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の取組を開始しました。

「トライやる・ウィークを終えて」

～令和5年度「トライやる・ウィーク」事後アンケートより～

【生徒】

- ・誰かのために一生懸命頑張ることの大切さや大変さを知ることが出来ました。誰かが嫌がることを進んでできるような人になりたいです。
- ・働くことは大変だけど楽しいことも沢山あって、自分の行動に責任を持たなければいけないことを学んだ。



【保護者】

- ・親として先生方、受け入れた幼稚園の先生方に心から感謝申し上げます。毎日、園児との接し方に工夫をしたとか、幼稚園の先生の責任の重さを感じたなど、普段よりもたくさん親子で会話をしました。
- ・将来の夢である仕事を実際に体験し、楽しいばかりでなく、仕事の大変さを学ぶことができてとても良かったです。

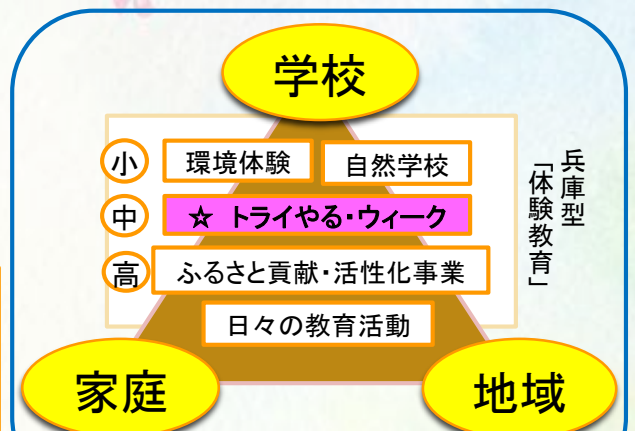


【受け入れ事業所】

- ・昔に比べて地域内でのつながりが弱くなっていると感じており、トライやる・ウィークは年代を超えて新たなつながりをもつことができる素晴らしい取組です。



子どもたちの生きる力を育む 地域総がかりの教育



「社会に開かれた教育課程」

☆「トライ」は、「挑戦する」と「学校・家庭・地域のトライアングル」を意味しています。

おとなになっても…

～これから何十年先も～

接客業を希望して体験に行かせていただきました。初めてお客様の対応をする時、周りの方の温かい目や、お礼の言葉をかけてもらえたことが、とても嬉しかったので、今に繋がっていると思います。(接客業)



中学生時代にトライやる・ウィークで東消防署へ行き、消防士になりたいと思いました。実際に消防士になってみると、トライやる・ウィーク時に教えてもらった基本的なことを常に意識しており、再度基本の大切さを感じられました。(消防士)

